

レッドフラッグを活用した通信指令員のスキル向上ワークショップ

～通信指令員版 救急脳のつくり方～

内容： 講師はこれまでにレッドフラッグ（見逃してはいけない疾患を示唆する症状や所見）を活用した救急救命士向けの臨床推論ワークショップを展開してきた。今回は通信指令員として、傷病者からの聴取でまず聴取すべき内容を特訓する。119番通報として複数の事例を用意し、通信指令員と伝達を受ける救急救命士、両方の役割を体験しながら、レッドフラッグへの理解を深めるワークショップです。事前学習を条件とします。

対象： 通信指令員、救急隊員、救急救命士、指導救命士

所要時間： 60分間 **定員：** 30名 * 同内容で2回実施予定

12:00-13:00、14:30-15:30 事前申し込み制。先着順。

当日空席があれば参加可能です。当日、見学も少数受け付ける予定です。

講師： 望月礼子（鹿児島大学 救急・集中治療医学分野 非常勤講師）

アドバイザー： 救急救命士 数人

指定テキスト：

救急隊版エマージェンシー臨床推論2 もっと救急脳のつくり方. 望月礼子、東京法令出版、2024年（p32ページまで通読し当日持参ください。AI読み上げ機能付きの本です）

申し込みリンク： <https://forms.gle/abzBTwkY6XMB1AEx7>

